



盛岡市プレスリリース

～盛岡市立病院 基本理念～
優しさといわたりのある病院
信頼され優れた医療の病院
開かれた地域医療のための病院

令和7年7月10日
市立病院 総務課

市政記者クラブ加盟社 各位

骨密度測定装置導入に伴う検査精度の向上について

盛岡市立病院では、より精度の高い骨密度測定装置を導入しています。

以前の骨密度測定装置は前腕骨で骨密度を測定していましたが、今回導入した装置は骨折しやすいとされる腰椎と大腿骨頸部を測定対象とすることから、より臨床の有効性が高まりました。

脆弱性骨折※が繰り返し生じた場合、活動性が大幅に低下し、介助、介護が必要になる可能性が一層高まり、体の衰えも加速してしまうことが、日本整形外科学会でも指摘されています。よって、特に高齢者においては骨密度の悪化を見逃さないことが重要になります。

つきましては、当院における骨密度検査精度の向上等を広く周知するため、貴社媒体で取り上げていただきますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。（取材は、随時受け付けております。）

※ 脆弱性骨折は、骨の強度が低下し僅かな外力で生じる骨折であり、特に高齢者の生活機能を一瞬にして奪い、生命予後の悪化をもたらす重大な疾患です。

【参考】

今回導入した骨密度測定装置HORIZON（HOLOGIC社製）は、どのタイプの装置で測定しても同じ結果が出るというメリットがあります。岩手県内でも多くの施設で採用されていて、同社製の装置で測定したデータであれば、他院で測定したデータと比較・検討でき、スムーズな診療につなげることができます。

【担当医コメント】

装置導入後、院内に二次性骨折予防のための「骨折リエゾンサービス(FLS)委員会」を立ち上げました。一度脆弱性骨折を起こした患者さんの二次骨折リスクは極めて高くなるため、FLSはそんな骨折患者さんに対する骨粗しょう症治療開始率及び治療継続率を上げ、二次骨折の連鎖を絶つことを目的としています。

委員会メンバーは医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、診療放射線技師、事務職員と多職種に渡り、ワンチームで骨折後の患者さんを支援しています。骨密度測定装置は、手術後の患者さんの骨密度を定期的に測定し骨密度の悪化を見逃さない事に役立っています。その経過を見ながら、より強力な骨粗しょう症治療薬の導入も積極的に検討がなされています。また、この骨密度測定装置を導入したことにより、骨密度検診の二次精査病院の指定も受けています。一次検査で要精査の結果が出た方に対し、より精度の高い検査を受けていただき、良好な結果の方には安心を、そうでない方には早期治療へのご案内します。

多くの施設で採用されている精度の高い装置が導入されましたので、連携をとりながら複数の診療科と相談の上、皆様の骨の健康を守っていききたいと思います。



骨密度測定装置 HORIZON



FLS 委員会の様子

【問い合わせ先】

盛岡市立病院 総務課

担当：本館（もとだて）

TEL：019-635-0101（内線2344）